

コンクリ2団体と

山形市が災害協定

特殊車両で消防活動応援

山形市（佐藤孝弘市長）と山形県コンクリート匠送協会（佐藤隆彦会長）、山形中央生コンクリート協同組合（渡邊英一理事長）の3者は、同市庁舎で「災害時における消防活動応援に関する協定」を締結した。写真。



同協定では、山形市消防本部管内（山形市・山辺町・中山町）で発災した際に、コンクリートミキサー車やポンプ車などの特殊車両を派遣し、消火支援を行うことを盛り込

んでいる。

大量の水を供給・運搬できるミキサー車や、ブームで放水ができるポンプ車は、災害時の消火活動での活躍が期待されている。2016年12月の新潟県糸魚川市大規模火災の消火活動でも、ミキサー車が活躍した。

今後、同市消防本部と合同で、ミキサー車が運搬する水をポンプ車が中継し、タンクへの移し替えや放水などの訓練を行う予定だ。